

2022年度後期		知の市場(シラバス)						新規				
科目No.	関連講座GR578b	科目名	持続可能な日本への制度論(2)				副題	少子高齢化社会における財源問題を検証しつつ持続可能で豊かな社会を考える				
連携機関名	社会技術革新学会	水準	基礎	教室定員	0	配信定員	30 <th>講義日時</th> <td>第4水曜日 19:00～21:00</td> <th>拠点 (開講機関)</th> <td colspan="2">リモート・横浜南 (知の市場)</td>	講義日時	第4水曜日 19:00～21:00	拠点 (開講機関)	リモート・横浜南 (知の市場)	
科目概要(300字)	少子高齢化により社会保障費は膨張しているが、そのための財源は不足し、日本は巨額な公的債務を抱えている。労働や社会保障に係る制度の現状と課題を考察した前期の続編として、財政面の現状と課題を整理し、財源の確保について考察する。その上で、資本主義経済の抱える課題を抽出し、制度面から課題の解決策を考察し、「持続可能で豊かな社会」の実現に向けた方策を考察する。											
科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)					講義日	開講場所	講師	講師	所属
財政制度と財源確保	1	お金の基礎知識	貨幣とは何か、金融機関の役割りとは何か、お金の流れの全体像を確認した上で、日本銀行の役割りや金融政策について検討し、日本の財政問題を検討する基礎を検証する。					2022/10/26	Zoomを活用してリモート開催。	勾坂行男	勾坂行男	社会技術革新学会 会員
	2	日本の財政の現状と課題	コロナ禍で日本の公的債務残高は一層悪化し、先進諸国中最悪である。税収では賄いきれない支出を、今後、このまま国債の発行により補っていくことはできない。日本の財政の現状と課題を整理し、解決のために何をすべきかを考察する。					2022/11/23				
	3	租税回避問題の現状と課題	新自由主義の台頭やグローバル化の進展、更にそれらを加速するデジタル化によって、多国籍企業や富裕層の所得が低課税国や租税回避地域に流れており、税収減の一因にもなっている。この課題について整理し、租税のあり方を考察する。					2022/12/28				
持続可能で豊かな社会	4	AI時代の働き方の現状と課題	コロナ禍によって労働者が二分されていることが明らかになった。所謂エッセンシャル・ワーカーとオンラインで業務が可能なワーカーである。今後、AIやロボットの導入が加速させるに従い、この傾向は更に強まる中で働き方はどう変わるのかを検証し課題を整理し、どう備えればよいのか考察する。					2023/1/25				
	5	資本主義経済の現状と課題	経済成長を基盤にした資本主義経済は、地球の有限性や成長主義が内在する外部性のリスクにより限界にきていると言われている。こうした現状と諸説を検証しつつ、果たして成長を犠牲にせずに定常な社会は可能なのか考察する。					2023/2/22				
	6	持続可能で豊かな社会を求めて	「持続可能で豊かな社会」とはどのようなもので、それはどう実現すればよいのか考察する。講師によるたたき台と参加者の具体的な提案を踏まえて、本講義の総括として論議する。					2023/3/22				